

福祉パレット

第1回子ども映画会

「カールじいさんの空飛ぶ家」



日時 平成22年7月31日（土）

午前の部 10時30分上映（10時開場）

午後の部 1時30分上映（1時開場）

会場 向日市民会館ホール

（向日市寺戸町中ノ段17-1）

対象 向日市在住の方

入場チケットについて

7月1日（木）から向日市福祉会館2階で
無料配布

※受付時間：土・日曜日を含む午前9時～午後5時
ただし土・日曜日は7月3日・4日のみ

お問合せ 向日市社会福祉協議会 932-1960

この上映会は、皆さまからいただく会費と寄付金で運営されています。

平成22年度 事業計画

人と人とのつながりを大切にし、すべての住民が安心して暮らせるまちをめざして

●基本方針●

複雑多様化する福祉ニーズに対し、的確に対応するための組織体制の充実と経営基盤の安定化を図るとともに、事業の実施にあたっては、市民や利用者本位の福祉サービスを提供し、安心と信用を大切に、公正・誠実かつ透明性の高い福祉経営を実践していきます。

●重点目標●

1 「地域福祉活動計画」の推進

この計画にもとづいて、誰もが住みなれた地域で自分らしく暮らしていけるための地域づくりに取り組みます。

2 相談体制の充実・強化

高齢者や障がい者とその家族の様々な相談に対応するた

4 介護保険事業の健全な経営

運営基準や各種法令を遵守するとともに、より良質な介護サービスを提供するため、マンパワーの育成に努めます。また、事業運営の透明性を図るため、介護サービス情報公表制度により事業所情報を公開します。

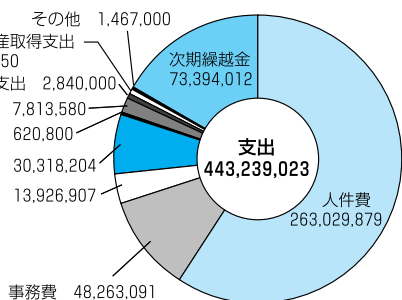
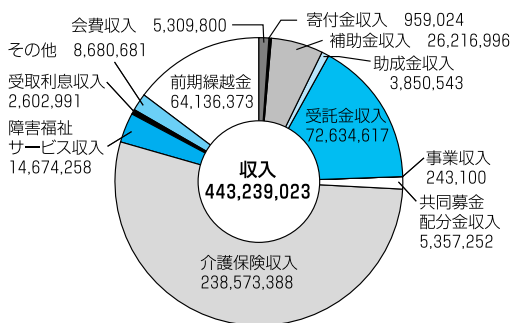
5 福祉会館の管理運営

総合的な福祉活動の拠点施設として、福祉関係者に利用しやすい施設となるよう、より適正な管理運営に努めます。

3 ボランティア活動の充実・拡大

ボランティアの市民参加を促進するため、ボランティア活動センター機能の充実に努

平成21年度決算概要 (全体)



平成22年度 会員募集のお願い

みんなで進める地域の福祉

社会福祉協議会は、市民の皆様が共に支えあい、その人らしく、安心して暮らせるまちを目指して事業を行っています。

その事業運営のためには、皆様からの会費が欠かせないものとなっています。

一人でも多くの方に活動の趣旨をご理解いただき、会員に加入していただけるよう、お願い申し上げます。

会費は、次のような事業に使わせていただきます。

- ☆子育て支援事業
- ☆障がい児・者ふれあいレクリエーション
- ☆地区社会福祉協議会（地区社協）への支援
- ☆ひとり暮らし高齢者への防災・福祉合同パトロール
- ☆敬老祝品の贈呈
- ☆福祉団体への支援（老人クラブ、障がい者団体、その他の福祉団体）
- ☆福祉資金の貸付

会費には、次の種類があります。

（世帯の皆様を対象に）

一般会員……一口 **500円**

特別会員……一口 **3,000円**

（向日市内の企業・団体の事業所の皆様を対象に）

賛助会員……一口 **5,000円**

（福祉のまちづくりにご賛同いただく篤志家の皆様を対象に）

名誉会員……一口 **10,000円**

*会費口数には制限はありません

*自治会・町内会組織のない、また所属されていない方でもご加入いただけます。

お問い合わせ先

総務係 電話932-1960

DVD教材「みんなにとどけ! 地域福祉」が完成しました

無料貸出中! 福祉学習にご活用ください。

市民の皆様には地域福祉を分かりやすく伝えるため、高齢者見守り活動に取組む関係団体のご協力により作成いたしました。



【内容】

- ・社会福祉協議会について
- ・地域福祉を推進する背景
- ・地区社協の活動紹介
- ・ふれあいサロンの活動紹介
- ・地域サポーターの活動紹介
- ・これからの地域福祉の推進について

○無料で貸出します。 ※貸出期間は7日間です。

- ①市内の方は、本会へ直接お越しいただき、お申込みください。
- ②市外の方は、FAXやE-mailでお申し込みください。(名前、住所、連絡先、使用内容、貸出期間等を記入のこと)
なお、送料は本人負担となりますので、返却の際、必ず郵便切手120円分を同封し、郵送でご返却ください。

○視聴者アンケートにご協力ください。

本会ホームページ：<http://www.muko-shakyo.or.jp>
アンケート様式のダウンロード

【アンケート回答方法】

- ①FAX 075-933-4425へ送信してください。
- ②E-mail info@muko-shakyo.or.jpへ送信してください。



市民談話室をリニューアルしました。

市民の交流の場としてご利用いただいている市民談話室は、2階へ移転しました。好評のヘルストロンに加え、新たに液晶テレビを設置するなど、過しやすくしました。どうぞお気軽にご利用ください。

利用時間

月曜日から金曜日は、午前9時から午後4時30分まで
土曜日は、午前11時30分まで
※福祉会館休館日及び福祉会館の点検等で利用できない場合があります。

ふれあいサロン活動紹介

「ふれあいサロン」をご存知ですか？

市内には、地区社協やボランティア団体等の運営による「ふれあいサロン」が18か所あります。このサロンは、高齢者の生きがいづくりや健康づくりを目的に、身近な地域で定期的に行われ、茶話会やレクリエーション、小物作り等の活動が行われています。興味関心ある方はお気軽に地域福祉係までお問い合わせください。向日市社協のホームページ (<http://www.muko-shakyo.or.jp/>) でも紹介しています。是非、ご覧ください。

サロン・かぐやひめ愛・あい	寺戸コミュニティセンター	第4火曜日 13:30~15:30
サロン・ピーチク	老人福祉センター 琴の橋	第4金曜日 13:30~15:30
サロン・パーチク	中央公民館	第3火曜日 13:30~16:00
おたっしゃ会	西向日コミュニティセンター	奇数月の最終水曜日 13:30~15:30
NPOえがお	個人宅(寺戸町)	第2・第4木曜日 10:00~12:00
サロン・かぐやひめ友・あい	鶏冠井コミュニティセンター	第2火曜日 13:30~15:30
サロン・ひばりの子	老人福祉センター 桜の径	第1月曜日 13:30~15:30
サロン・かぐやひめ信・あい	上植野コミュニティセンター	第4木曜日 13:30~15:30
サロン大牧	個人宅(寺戸町)	不定期 10:00~16:00
サロン・かぐやひめ相・あい	寺戸公民館	第3水曜日 13:30~15:30
いきいきサロン 桜さくら	向日コミュニティセンター	第4土曜日 13:00~15:00
わたぼうし	鶏冠井公民館または個人宅(鶏冠井町)	第2木曜日 13:00~16:00 第4木曜日 13:30~15:30
サロン・レモンの会	向日台団地第2集会所	第2火曜日 13:30~16:00
いきいきサロン 物集女	物集女公民館	第1水曜日 10:00~12:00
悠遊の会	寺戸公民館	第2・第4水曜日 14:00~16:00
ふれあいサロン わかば	向日台団地第2集会所	第3水曜日 10:00~13:00
ここにこサロン ばあーじー	落堀集会所	第1・3木曜日 13:30~15:00
サロン・森本	森本公民館	第2金曜日 13:30~15:30

※活動日時に変更される場合があります。

まちかどウォッチング



毎年、5月5日「こどもの日」を中心に児童福祉週間を設け、全国的に児童福祉の理念や制度の広報周知が行われています。

向日市では、この週間の取組として5月7日に子育てセンター主催の「みんなで子育てMUKO『親子であそぼう！3B体操』」が開催され、36家族が親子一緒にリズムに合わせて体を動かしたり、家族間交流が行われました。

このような活動を通して、次世代を担う子どもが心豊かに生活できる家庭や地域づくりが広がっていくことを願っています。

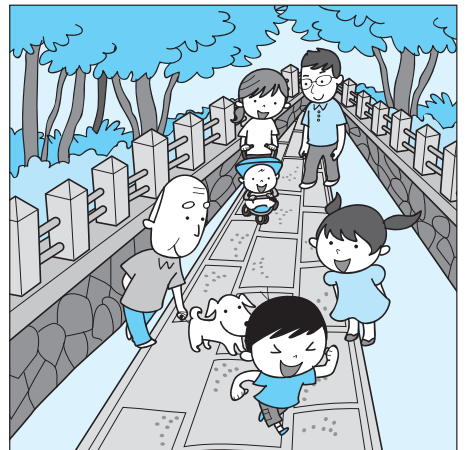
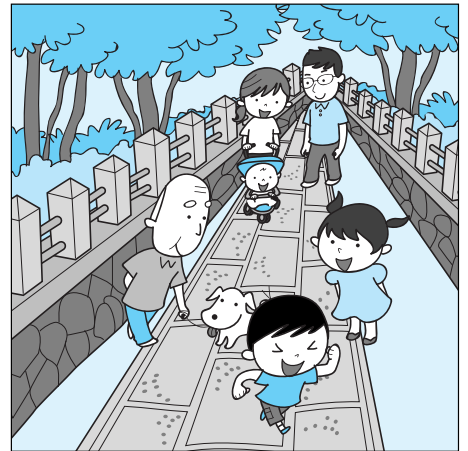
子育ての輪



撮影：平成22年5月7日（金）

まちがいさがしクイズ

下記の2つのイラストには、まちがいが5つあります。さがしてお答えください！



*応募方法

はがき又はFAXに、①回答②氏名③住所④今月号で特に関心があつた記事（複数回答可）⑤「福祉パレット」を読まれた感想を書いてお送りください。正解者の中から抽選で5名に記念品をプレゼントします。

*締め切り

平成22年7月31日（土）まで必着

*送り先

〒617-10002

向日市寺戸町西野辺1-1-7
向日市福祉会館内 総務係
FAX 9333-4425

福祉サービス利用援助事業のご案内

あなたの「困った！」
をお手伝いします

たとえば…

困ったこと

銀行や郵便局でお金を出し入れすることが一人では不安である。

一人で税金や公共料金、光熱費等の支払いをすることが難しい。

役所からの郵便物の内容がよくわからない。

通帳や印鑑、または大切な書類を自宅に置いておくことが不安である。

福祉サービスを利用したいけれど、内容や利用方法がわからない。

お手伝い

銀行や郵便局に同行したり、あなたの代わりに行ったりします。

あなたの代わりに支払いをします。

わかりにくいところをわかりやすく説明します。また、必要な手続きを代行します。

向日市社協の金庫で預かります。

福祉サービスの内容やどうしたら利用できるのかを説明します。

この事業は、認知症や知的障がい、精神障がいのある方を対象としています。あなたが必要とする頻度に応じて、生活支援員がお手伝いします。くわしくは、地域福祉係までご相談ください。

向福グループ様から

「車いす2台」寄贈

ありがとうございます。



平成22年5月12日(水)に向日市のボランティア団体「向福グループ」様から本会デイスリーブで使用する車いすを2台寄贈いただきました。

同グループは不用なアルミ缶を回収されており、その資金で毎年、市民の福祉を増進するための物品等を寄贈されています。

デイスリーブは、介護を必要とする高齢者が日中利用する通所型の施設で、寄贈いただいた車いすを歩行が困難な利用者の送迎や室内移動時に役立てさせていただきます。

三菱電機株式会社 指定寄付金のお礼

三菱電機株式会社様及び三菱電機SOCIORITYS基金様より、障がい福祉事業に活用することを目的として、28万8千円の指定寄付金をいただきました。

同社では、従業員から寄せられた募金額に対して、会社がその同額分を上乗せし、同SOCIORITYS基金に蓄えられた後、年1回福祉団体に寄付されています。

向日市社協では、今年も「心

午前8時30分～午後5時

※土・日曜日除く

助成金額
上限5万円

※希望団体が予定数を上回る場合や募金額の増減などにより、1団体あたりの配分額について、ご希望に添えない場合があります。

交付日

平成22年12月下旬

くらしの資金(夏期) のお知らせ

疾病や失業等により、一時的にお金のやりくり困ったり、緊急に資金を必要とする世帯のために、「くらしの資金」の相談を受付けます。

受付期間

7月1日(木)～14日(水)

午前9時～午後4時
(土・日曜日を除く) ◎要予約

貸付限度額

1世帯あたり10万円以内

●ご相談は、地域福祉係
(電話932-1961)まで。

善意の寄付

ありがとうございました。

(平成22年2月11日～5月19日)

● 恒田 二千雄様 10,000円

● 向日市中央公民館 木曜生花クラブ様 10,000円

● 向日市グランドゴルフ協会様 2,400円

ボランティア募金箱の設置にご協力ありがとうございました。40,469円の募金が集まりました。

オカダ酒店、キッチンタロ、麒麟園、向陽ゴルフセンター、タックメイト万源、中華料理ほんぼあん、ディリーヤマザキ向日郵便局前、なかの食品、野村龍酒店、はなこ、フォレノワール、ライフシテイ東向日、洛園

平成22年度

歳末たすけあい募金

配分助成金のお知らせ

市内の福祉関係団体等が行う地域福祉推進のための事業に対して、予算の範囲内で事業に要する経費の一部を助成するものです。

ただし、団体の運営費用を除きます。

募集期間

平成22年9月1日(水)
～9月15日(水)



●大好評！ デイサービスセンターのクラブ活動●

自分らしく生きることを応援します。

今回は、クラブの作品をご紹介します。

●美術クラブ●

ティッシュケースカバー・巨大カレンダーなど指先先を使って協力しあいながら完成させました。

●お花クラブ●

社協のエントランスは四季折々の花でいっぱいです。心を込めて作った野菜を昼食時においしくいただいています。

●手芸クラブ●

デイサービスの座布団カバーを作りました。愛情がこもっていて温かいと好評です。今年、たまねぎの皮で生地を絞り染めたランチョンマットを作成し、喫茶週間で使おうと思っています。今から利用者の皆さんの笑顔が楽しみです。



●カラオケクラブ●

お腹から声を出して好きな歌を思いっきり歌っています。

●おしゃれクラブ●

顔や手のマッサージや化粧、ネイルアートと「より美しく」をモットーに会話もはずみます。

●ウォーキングクラブ●

平行棒を使った歩行訓練や、チューブ体操。天気の良いときは散歩に出かけています。

機能訓練として始まったクラブ活動も、お陰様で1年がたちました。

発表会や作品展を通じて、活動意欲を高め、「お互いが学び合い共に楽しむ」という協働の思いで「いきがい」づくりを応援いたします。

昼食時のおひつサービススタート

この4月より、旅館の朝ご飯のように各テーブル、おひつでご飯をよそっていただいています。

利用者の皆さんからは、温かいご飯が食べられて嬉しいという声もいただき、毎日昼食時は、楽しい会話でいっぱいです。



講座のご案内

向日市地域包括支援センターでは、 職員が出向き、講座を行います。

1. 介護予防講座

○介護予防 ○認知症予防 ○介護保険制度
 についての講座を行います。
 この講座を通して、介護予防に対する意識
 を高め、いつまでも自分らしく、いきいきと
 生きていくためのお手伝いをいたします。

2. 認知症サポーター養成講座

この講座は、認知症に対する正しい知識と
 具体的な対応方法等が主な内容となっていま
 す。

昨年度は、約500人の「認知症サポー
 ター」が誕生しました。

今年度も300人以上を目標に、より多く
 の皆様に認知症を理解していただくために開
 催いたします。

①日 時

月曜日～金曜日
 午前9時～午後5時

※土日、夜間の講座については要
 相談

②対象者

向日市民

③費用

無料

④参加者

原則10名以上

⑤申込み

実施日の2か月前までにお願います

お問い合わせ

向日市地域包括支援センター

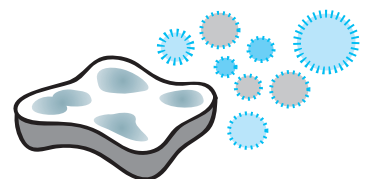
【電話】921-1550

カビを上手に防ごう！

うっとうしい梅雨、しとしと、ジメジメ、湿気が多い季節は気持ちまで湿っぽくなりがちです。そんな梅雨の恐るべき敵は「カビ」です。

カビは多くの胞子を放出します。空気中に多量の胞子があると、アレルギーー症や真菌症、食中毒などの病気を引きおこしやすくなります。

カビを発生させないためには、栄養・温度・水分・酸素（空気）のどれかひとつでも抑えれば、カビの発生はかなり阻止できます。



カビを上手に防ぐには

☆換気 部屋の空気の流れを作りましょう。風の入り口を狭くし、出口を広くしましょう。換気は晴れた日の昼間に行いましょう。

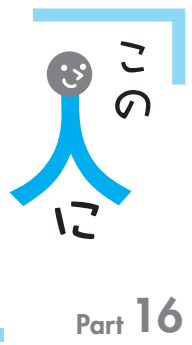
☆除湿 エアコンのドライ機能や除湿器を利用しましょう。ただし、フィルターの掃除はこまめに行いましょう。

梅雨の時期は、室内に洗濯物を干すことが多くなりますが、風通しを良くして、湿気をためないように心がけましょう。

☆掃除 丁寧に掃除機をかけて、栄養源となるほこりや汚れを減らしましょう。快適に過ごして、梅雨を乗り切りましょう。

健康
コラム

聞く



向日市民生児童委員連絡協議会
主任児童委員
風谷 千賀子さん



向日市社協では、市内で社会福祉に携わって活躍されている方にインタビューを行い、その方の社会福祉活動の内容等をご紹介します。「この人に聞く」コーナーを開設しています。今回は、向日市民生児童委員連絡協議会児童福祉部会長の風谷千賀子さんに主任児童委員の活動等についてお話を伺いました。

▼プロフィール

風谷さんは、保育士、幼稚園教諭の資格を生かし、幼稚園教員や乳幼児子育て相談員に従事され、平成13年10月に地域密着型保育をめざし、子育て支援や一時保育等を行う保育サポーターグループ「ねこばす」の立ち上げにご尽力されました。

▼主任児童委員の活動

主任児童委員には、「子育て支援」「青少年健全育成」「個別支援」といった活動があり、保育所や幼稚園、学校、行政機関等と連携を図りながら、日々、子育て支援活動の推進や課題に取り組みられています。中でも、「個別支援」については、関係機関・団体からの期

待が大きく、悩み相談をはじめ子育ての孤立化や児童虐待の防止といった家庭、地域での課題に取り組みられています。

しかし、個人情報保護や近所付き合いの希薄化、また虐待ケースなどでは他者の介入を家族が受け入れられないことが多く、家庭が何かの危機的状況にあったとしても情報を得られないことがあり、地域の中で見守っていくこと、関わっていくことの難しさを感じるのとことです。

こうした状況に対して風谷さんは、「私たちにできることは、周りに対して関心を持ち、お互いに声を掛け合うことだと思います。お互いが、負担にならない程度の関わりが日常的にあると、孤立化を防ぎ、児童虐待などの予防に繋がっていくのではないかと思います。」と話されました。

▼ふれあいと思いやりのまちづくり

向日市社協では、「ふれあいと思いやりのまちづくり」をスローガンに、日々地域福祉を推進しています。

風谷さんに、「このスローガンを実現させるために必要なことは？」と、お聞きすると、「子育てに関しては、親が悩みなどを抱え込んでしまうことが一番よくないことだと思います。親の不安な気持ちは、子にも影響してしまうからです。市内にはいくつかの相談窓口、施設があります。これらの機関を広報・周知することも大切ですが、悩み相談は、公の機関だけでなく、家族やご近所といった身近な場でできることもあります。親が悩みなどを抱え込んでしまう背景に核家族化やコミュニケーション不足といったことが原因に挙げられることがあります。それぞれの家庭の状況を

踏まえたくうえで、子どもや子育て家庭に対して、地域が無関心にならないでほしいと思います。身近なところからあなたかく見守っていただけるような環境づくりが大切だと思います。」と熱心に語っていただきました。

最後に向日市社協へ期待することについてお聞きすると、「子どもの社会性の発達や家族間交流として、親子が安心して気軽に集まれる場を提供していただきたいと思っています。また、子育て支援に係る事業については、関係機関・団体の協力を得ながら、親の育児力を高めるような事業の実施を希望しています。」と話されました。

向日市社協では、今後も「この人に聞く」コーナーにおいて、「ふれあいと思いやりのまちづくり」の実現に向けて、メッセージを発信していく予定です。

(愛称：むつみん)



向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様から寄せられた善意の「赤い羽根共同募金」の配分金を財源として、年に3回(3月・7月・11月)発行しています。

今後も市民の皆様に関心と親しみをもち読んでいただけるよう、紙面の充実に向けてまいりたいと思っておりますので、「福祉パレット」に対するご意見やご感想、ご要望等がありましたら、お気軽にお寄せください。

お問い合わせ先

- 総務係 932-1960
- 地域福祉係 932-1961
- 障がい者地域生活支援センター 932-1990
- 地域包括支援センター 921-1550
- デイサービスセンター 931-3294
- ホームヘルプセンター 932-1968
- 居宅介護支援センター 931-3030
- 福祉会館 931-3322

